

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2008-152878(P2008-152878A)

【公開日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-026

【出願番号】特願2006-341747(P2006-341747)

【国際特許分類】

G 11 B 7/0045 (2006.01)

G 11 B 23/40 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/0045 Z

G 11 B 23/40 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月18日(2009.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一方の面がデータ面であるとともに他方の面がレベル面となっている着脱可能記憶メディアの挿入部と、前記挿入部に挿入された記憶メディアのデータ面にデータを書込むデータ書込部と、前記データ書込部による書込残容量を検出する検出部と、前記検出部の検出に応じて記憶メディアのレベル面への画像書込みに関連する信号を発生する信号発生部とを有することを特徴とする記録装置。

【請求項2】

前記信号発生部が発生する信号は、記憶メディアのレベル面の書込み領域に余地を残すかどうか決定する信号であることを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項3】

一方の面がデータ面であるとともに他方の面がレベル面となっている着脱可能記憶メディアの挿入部と、前記挿入部に挿入された記憶メディアのレベル面に画像を書込む画像書込部と、記憶メディアのデータ面の書込残容量に基づき前記画像書込部を制御する制御部とを有することを特徴とする記録装置。

【請求項4】

前記制御部は、記憶メディアのデータ面の書込残容量に基づき記憶メディアのレベル面の書込み領域に余地を残すかどうか決定することを特徴とする請求項3記載の記録装置。

【請求項5】

記憶メディアのデータ面へのデータ書込みが不能状態にあるときデータ面の書込残容量があってもレベル面の書込み領域に余地を残さないよう決定することを特徴とする請求項2または4に記載の記録装置。

【請求項6】

一方の面がデータ面であるとともに他方の面がレベル面となっている着脱可能記憶メディアの挿入部と、前記挿入部に挿入された記憶メディアのデータ面にデータを書込むデータ書込部と、記憶メディアのレベル面に書込済の画像に関する情報を検出する検出部と、前記検出部の検出に応じて記憶メディアのレベル面への画像書込み様式を制御する信号を発生する信号発生部とを有することを特徴とする記録装置。

**【請求項 7】**

一方の面がデータ面であるとともに他方の面がレーベル面となっている着脱可能記憶メディアの挿入部と、前記挿入部に挿入された記憶メディアのレーベル面に画像を書込む画像書込部と、記憶メディアのレーベル面に書込済の画像に関する情報に応じて前記画像書込部による記憶メディアのレーベル面への画像書込み様式を制御する制御部とを有することを特徴とする記録装置。

**【請求項 8】**

制御されるレーベル面への画像書込み様式はレーベル面に書込済の画像の様式と同様であることを特徴とする請求項 6 または 7 記載の記録装置。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記の課題を解決するため、一方の面がデータ面であるとともに他方の面がレーベル面となっている着脱可能記憶メディアの挿入部と、挿入部に挿入された記憶メディアのデータ面にデータを書込むデータ書込部と、データ書込部による書込残容量を検出する検出部と、検出部の検出に応じて記憶メディアのレーベル面への画像書込みに関連する信号を発生する信号発生部とを有することを特徴とする記録装置を提供する。

**【手続補正 3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の他の特徴に寄れば、信号発生部が発生する信号は、記憶メディアのレーベル面の書込み領域に余地を残すかどうか決定する信号であることを特徴とする記録装置である。

**【手続補正 4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の他の特徴に寄れば、一方の面がデータ面であるとともに他方の面がレーベル面となっている着脱可能記憶メディアの挿入部と、挿入部に挿入された記憶メディアのレーベル面に画像を書込む画像書込部と、記憶メディアのデータ面の書込残容量に基づき画像書込み部を制御する制御部とを有することを特徴とする記録装置を提供する。

**【手続補正 5】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の他の特徴に寄れば、制御部は、記憶メディアのデータ面の書込残容量に基づき記

憶メディアのレーベル面の書込み領域に余地を残すかどうか決定することを特徴とする記録装置を提供する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の他の特徴に寄れば、記憶メディアのデータ面へのデータ書込みが不能状態にあるときデータ面の書き残容量があってもレーベル面の書き込み領域に余地を残さないよう決定することを特徴とする記録装置を提供する。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の他の特徴に寄れば、一方の面がデータ面であるとともに他方の面がレーベル面となっている着脱可能記憶メディアの挿入部と、挿入部に挿入された記憶メディアのレーベル面に画像を書込む画像書込部と、記憶メディアのレーベル面に書き済の画像に関する情報に応じて画像書込部による記憶メディアのレーベル面への画像書込み様式を制御する制御部とを有することを特徴とする記録装置を提供する。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の他の特徴に寄れば、制御されるレーベル面への画像書込み様式はレーベル面に書き済の画像の様式と同様であることを特徴とする記録装置を提供する。